

長生村長賞

なかむら やすえ
中村 康絵

お父さん、お母さんへ

いつも温かく見守ってくれてありがとう。

私が精神病になって、障がい者となってから

私自身も戸惑い受け止めきれず、感情をうまく表現して

伝えることが出来なくて、家を飛び出しても、

訳を問い詰めることをせずに

自分で帰れなくなった時に迎えに来てくれてありがとう。

あの時、ただただ“迎える、だけにしてくれて嬉しかったです。

段々と自分から、気持ちを伝えられるようになって、

まだ“失声、”という症状が出てしまい、

その度に心配していて声がまた出るようになるまで待っていて。

本当は色々、私に聴きたい事や、やって欲しい事はあるとは

思うけど、あえて言わずに私が自分から言う事や、

するようになるのを待っていて 助かっています。

お父さんも、お母さんも、段々と年を重ねて今まで出来て

いたこと が出来ないことも出てきて、私が年を重ねた分だけ、

一緒に年を重ねたのだと感じています。

二人が安心して私がこの先、ひとりでも誰かしらの協力を

得ながらも暮らせていけるように、これからも温かく見守って

いてください。

時には厳しいけれど、これからの人生を二人が教えてくれた事を

胸にして生きていきます。

頑張りすぎたりしない様に、自分が出来ることを続けていきます。

中村 康絵

(千葉県／36歳)

社会福祉法人愛の友協会